

ゆらゆら

Japan Aseismic Safety Organization

耐震総合安全機構 広報 第50号



特定非営利活動法人
耐震総合安全機構

東京都文京区音羽1-20-16 PAL音羽ビル7階
TEL 03-6912-0772 FAX 03-6912-0773
E-mail info@jaso.jp https://www.jaso.jp

作成：耐震総合安全機構 広報委員会

発行日：2023年4月30日（年2回発行）

『東京都 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム』に登録しました

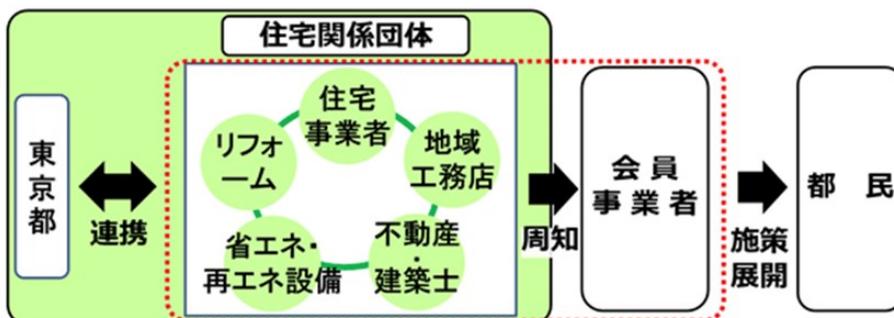


東京都では2030年までに温室効果ガス排出量を50%削減（2000年比）するカーボンハーフの実現に向けて、東京都、住宅関係団体及びその会員事業者が一体となって、省エネ・再エネ住宅を普及促進させるため、『東京都 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム』を昨年設立しました。プラットフォームでは、東京都と住宅関係団体の情報共有・連絡協議の場として、協議会・分科会の開催を行っています。現在、約45の住宅関係団体が参加しています。JASOは建築士の団体として本プラットフォームに登録し、協議会や分科会に参加し、省エネ・再エネ住宅推進に係る情報交換を行っています。2月27日の分科会では今井副理事長がJASOの紹介と活動成果の一部について発表しました。今後、既存建物に省エネ・再エネ設備を設置する場合の建物との取り合い、構造安全性の確認など、具体的な事例での参画も予想されます。プラットフォームの住宅関係団体が、都民への省エネ・再エネの普及啓発、相談窓口の設置、事業者への技術力向上のための講習会やセミナーの開催を行う場合には東京都からの補助制度もあります。JASOとしても補助制度を利用して講習会なども開催していきたいと考えています。詳しくは、東京都のホームページを参照ください。

（JASO常務理事 中村茂）

東京都 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム ホームページ
https://www.juutakuseisaku.metro.tokyo.lg.jp/syoene_saienejuutakuplatform

プラットフォームの仕組み



目次

東京都省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム登録のお知らせ	1
JASO新会員制度のご案内	2～3
JASOマンション耐震セミナー報告	4
分譲マンション耐震化フォーラムへの講師派遣報告	5
JASOシンポジウム開催報告	6
JASO推奨品・推奨工法認定のお知らせ	7
JASOスクールの報告総会のお知らせ	8

JASO新会員制度のご案内

いつもJASOでご活動されている皆さんにお知らせです。

JASOはここ数年来会員が減少している状況にあります。耐震化を支援する組織として適切な活動を行うためには、組織としての規模の維持や新会員の入会を促進することが必要です。そのためには、活動内容をこれまで以上に充実させ、それを内外に向けて発信することと共に、会員制度を、これまで以上に活動しやすいものにする必要があります。そこで、会員制度を以下のように改定することになりましたのでお知らせします。

1、JASOシニア会員制度の創設

昨年度、実施したアンケート調査には、体が不自由になってJASOにはほとんど来なくなり、現在、委員会には参加しているが、それにしても会費が高いという意見等がありました。実際に、正会員として委員会活動に参加していたが、会費負担が重いため、賛助会員に入りなおした例があります。また、退会届には、やめる理由として、「高齢のため」という理由が多く見受けられます。

やめられる方を、引きとめるわけではありませんが、活動に参加したいのに辞めざるを得ない方に対しては少しでも参加しやすいものに会員制度を改める必要があると考えました。

そこで、個人正会員として10年以上経た方を対象として、JASOシニア会員制度を創設します。これまでの経験を活かして、会員にアドバイス、指針を示す立場のものとして理事会で承認した方が対象となります。高齢のため、あるいは、仕事が忙しいなど、これまでと同様にJASOの活動に専念するのが難しくなった方を想定していますので、自治体派遣のアドバイザーとしての活動には参加しない代わりに、年会費を5,000円に改め、参加を継続しやすいかたちとします。※次頁の会員制度一覧表を参照

なお、アドバイザー派遣のなかでもJASO請けのものについては、長年の知見がないと対応できないものも多くあるため、引き続き行っていただくものとします。いきなり、退会するのではなく、ゆるやかな関係を保てる制度となることを期待しております。

2、Web正会員制度の創設

地理的に参加が困難な全国に所在の専門家の受け皿として、Web正会員制度を設けます。Zoomのみの参加を可能とします。アドバイザー派遣は、会議への出席が必要なので参加できませんが、所在地域のJASO請けアドバイザー派遣業務に参加可能とします。

※本部や支部のある地域にお住いの方もWeb正会員になることは可能です。

3、育成賛助会員制度の創設

アンケート調査からは、入会のきっかけは、JASO会員の勧誘によるケースが多いことがわかります。これより、若年層の会員が少ないのは、専門的なスキルが成熟していない若年層に対しては、会員からの入会の勧誘が少ないことが原因と推察されます。

そのため、耐震になじみのなかった専門家（学生も可）を対象にした、エントリーコースとして、育成賛助会員制度を創設します。AD派遣に補助員として同行や、委員会活動に参加するなかで、耐震支援業務に関する経験をつんでいただく、育成を主眼としたものです。正会員になる前にJASO活動を気軽に体験できる制度として利用していただきたいと考えています。入会を希望する側だけでなく、誘う側にとっても有効な制度となることを期待します。

4、個人賛助会員制度の改定

育成賛助会員にあわせて個人賛助会員の会費を5000円/年と改めます。

上記制度は、いずれも正会員への変更は可能なので、どうぞ、新しい会員制度をご活用ください。また、これはと思った方がいらっしゃればJASO入会への声掛けをお願いいたします。

（総務委員会委員長 伊藤正利）

会員制度一覧表

※特別会員、法人正会員、法人賛助会員は従来通りです。

	会員区分	アドバイザー		委員会・研究会	情報提供・セミナー等	議決権の有無
		AD実務	AD会議			
正会員 (個人)	正会員 20,000円/年	参加可能	参加可能	参加可能	参加可能	議決権 有り
	JASOシニア会員 5,000円/年	JASO請けAD に参加可能	参加可能	参加可能	参加可能	
	Web正会員 12,000円/年	JASO請けAD に参加可能	参加可能 (Web参加)	参加可能 (Web参加)	参加可能 (Web参加)	
賛助会員 (個人)	賛助会員5,000円/年	—	—	参加可能	参加可能	議決権 無し
	育成賛助会員 5,000円/年 (従前は10,000円)	補助員として 参加可能	参加可能	参加可能	参加可能	

JASOマンション耐震セミナー報告

2022年11月26日、JASOマンション耐震セミナーを開催しました。今回で8回目を迎えました。昨年に続きコロナ対策のためにオンライン（Zoom）配信にて行いました。

今回のテーマは「耐震化の阻害要因とその改善策及び耐震改修事例報告」で、マンション管理組合が様々なハードルを乗り越えて耐震改修を実施した事例を紹介しました。

講演①では、宮城秋治氏が「耐震化の阻害要因とその改善策」と題して、マンション再生のステップを分かりやすく説明しました。講演②と③は事例の紹介で、白石健次氏が「TハイムE棟」を、森本伸輝氏が「Sマンション」の耐震補強工事までの取り組みを紹介しました。白石氏には1階に大型店舗を有するマンションの補強計画の難しさを、森本氏には耐震補強と修繕工事も同時に実施した、その資金計画・合意形成の取り組みについてお話を頂きました。講演④では、住宅金融支援機構の水野里子氏に、マンション共用部リフォーム融資等のご案内をして頂きました。

当日のセミナー参加者は56名であり、アンケートには全員が「大変参考になった」「概ね参考になった」と回答し、高い評価を頂きました。

オンラインによる開催は2回目ですが、昨年の7月頃からJASO教育研修委員会メンバーと事務局で新たなセミナーの開催の方法を模索し周到に準備をした結果、今回もトラブルもなく開催することができました。

（教育研修委員会
上原寛明）



（左上）宮城秋治氏 （右上）白石健次氏
（左下）森本伸輝氏 （右下）住宅金融支援機構の水野里子氏

分譲マンション耐震化フォーラムへの講師派遣報告

2022年11月19日（土）の茨木市、吹田市、大阪府の共催によるフォーラムの開催にあたりJASOに対して講師派遣要請があり、大嶋栄氏に「分譲マンション等の大地震被害状況、耐震化事例と耐震化費用」のタイトルで、以下のテーマから成る講演を行っていただきました。

- ◆ 地震に対する基礎知識
- ◆ マンションの耐震化の重要性
- ◆ 耐震診断とは？
- ◆ 耐震補強計画の重要性
- ◆ 耐震補強の事例
- ◆ 耐震化成功のための二つの鉄則

講演開催場所の茨木市周辺は大阪と京都の間に位置し、交通や環境面で良好なマンション立地条件であるため、その耐震化の手法として「耐震改修」だけではなく、「建替え」が検討されるケースもあることから、このフォーラムにおいても「分譲マンションの建替えについて」として、デベロッパーおよび再開発コンサルタントから2ケースの建替え事例が紹介されました。いずれのケースにおいても容積率に大きな余裕があり、敷地の一部売却や大規模な保留床の創出・売却による資金調達が建替え実現の要因となっています。しかし、そのための合意形成のためには、耐震改修のそれとは比較にならないほどの時間と困難さが存在することも認識した次第です。

講演終了後には個別相談会があり、JASOに対しては予め予約されていた2組の管理組合の方々から相談を受けました。

（近畿支部 藤本 健）



JASOの機関紙『ゆらゆら』が今号で発行50号となりました。

2004年1月に第1号が発行されて以来、19年間も継続して参りました。

記事執筆を担当された方々、快く取材を引き受けてくださった方々、そして会員読者みなさまにお礼を申し上げます。『ゆらゆら』が今後100号、200号と続きますように、会員皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

『ゆらゆら』バックナンバーはこちらから閲覧できます。
<https://www.jaso.jp/reports/kaishi.html>

JASOシンポジウム開催報告

去る1月20日、技術情報委員会によるJASOシンポジウムが開催されました。JASOは耐震に関わる専門家を対象にシンポジウムを行ってきましたが、コロナ禍の影響で2年ぶり、初のweb開催となりました。

今回は「高経年マンションの活用（再生）を考える～快適な都市居住の継続に向けて～」と題し、築40年を超えるマンションの課題に焦点をあてました。高経年マンションは、建物の老朽化と居住者の高齢化という「二つの古い」が進んでおり、高経年マンションが不良ストック化していくことは、単にそのマンションの課題ではなく、周辺市街地の環境、大規模地震を含む防災面での対応など、地域社会に深刻な影響を与えることとなります。今年のシンポジウムではこの問題を取り上げ、「行政」「管理」「耐震化」「金融支援」などハード・ソフトの両面から高経年マンションが抱える課題を多角的に捉え、その解決策を考えることにしました。

講演1では、東京都住宅施策本部民間住宅部マンション課長の曾根邦友氏に「マンションの管理の適正化と円滑な再生に向けた東京都の取り組み」と題して、都の施策、具体的な取組をお話頂きました。

講演2では、（公財）マンション管理センター総合研究所長 石原晃彦氏に「高経年マンション管理の課題と活用（再生）に向けた取り組み」と題して、有益な取組をご紹介いただきました。

講演3では、JASO副理事長の江守英実氏に「マンションの長期修繕計画と耐震化」と題し、事例の紹介と、資金の捻出方法、耐震補強を行う意義などをお話いただきました。

講演4では、住宅金融支援機構マンション・まちづくり支援企画グループ調査役 古泉奈々氏にマンションのライフサイクルに応じて金融面から支援する住宅金融支援機構の様々な制度について紹介いただきました。

今回はパネルディスカッション・会場からの質疑回答ではなく、それぞれの立場からのご講演となりましたが、参加いただいた方々からは多くの感想やご意見が寄せられ、今後もこのような情報発信を望む声も頂きました。

当日の資料とアンケート結果はJASOホームページにも掲載していますので、関心のある方はご覧ください。

（技術情報委員会 佐藤寿一）



JASO推奨品・推奨工法認定 認定番号No.17

『ノンピック工法』株式会社ロンビックジャパン

躯体を30mm残しても完全スリットと同等の効果が得られる後施工スリット工法「ノンピック工法」がJASO推奨工法（認定番号No.17）に認定されました。

従来のウォールソーと研りによる工法に替わり、特殊ビットを用いた専用切削機を使うので騒音や振動、粉塵が大きく抑えられます。マンションにおいては住まいながらの耐震補強が一般的であり、居住者の工事中の負荷を軽減することが期待できます。狭い場所や足場上、パイプシャフト内など、従来の工法では難しい施工も行うことが可能です。

「後施工部分スリットによる柱の耐震補強工法」の設計・施工指針に示される、適用範囲、使用材料、補強設計方法、施工計画・施工品質管理、設計・施工の責任体制の妥当性について、日本建築防災協会の技術評価書（建防災発第30120号／令和3年8月31日）を取得していることなどがJASO推奨工法に認定された理由です。

（技術情報委員会 宮城秋治）



ノンピック工法によるスリット施工

株式会社ロンビックジャパン

TEL 03-5332-6791 <http://www.lonbic.co.jp/>

2022 JASOスクール

第3回 JASO技術者育成講習(Web開催)開催報告

2023年1月17日、オンライン形式によるJASOスクールが開催されました。コロナ禍の影響が引き続きあり、JASO7階会議室を発信の場としてWeb形式による開催となりました。

今回のJASOスクールは耐震アドバイザーが関わった個々の事例や経験を紹介する形で、5名のアドバイザー（建築：三島直人氏、太田剛寛氏、構造：岡田和広氏、足田尚人氏、設備：平野広氏、司会：高橋達夫氏）による討論会形式にてそれぞれの知見を持ち寄り共有されました。

具体的には各アドバイザーが担当した物件に対するアドバイスやアプローチの仕方などの紹介があり、耐震化へ向けての合意形成などの難しさなどが議論されました。討論会の最中でもWeb参加者から活発な議論や質疑などが有り、パネラーの議論をきっかけに有意義な情報共有の場となりました。

(広報委員会 三木剛)

2023年度JASO総会のお知らせ

今年は4年ぶりに日中友好会館にて、対面にて行います。奮ってご参加ください。

■日時

日時：2023年6月9日(金) 14:00~
場所：日中友好会館ホール(地下1階)

■スケジュール

- 1) 総会(14:00~15:00)
- 2) 臨時理事会(15:00~15:15)
- 3) 新理事長のあいさつ

■講演会 (15:25~17:00)

- ① JASO賞表彰
講評 寺本隆幸審査委員長
表彰 安達和男理事長
受賞者プレゼンテーション
- ② 新耐震建築物耐震性確認委員会中間報告
講師：山内哲理氏
- ③ 水害対策アドバイザー制度検討委員会中間報告
講師：伊藤正利氏

■懇親会 (17:10~19:00)

場所：日中友好会館1階「馥(ふく)」
詳細につきましては事務局より後日お知らせいたします。

